

# 情報空間からゴールを 具現化させる錬金術

抽象世界を自在に移動する力を手に入れ、人生の自由度と  
幸福を高めたいと思いませんか？

【なぜ成功法則で成功しないのか？】

世の中には成功法則に関する書籍が星の数ほど発売されています。私は成功法則にはとても好意的で、多くの場合正しいことが書かれていると思っています。

しかし、現実社会を見渡すと成功できない人の方が圧倒的に多い現実があります。これはコーチングも同様で、コーチングを学んでも成功する人とならない人が現実問題としてあります。

一体、この違いはどこから来るのでしょうか？

私は現実問題を蚊帳の外にして、理想論だけで突っ走ることは危険な原

理主義であると考えているので、リアルと理論の両方を見据えた上で、再現性を考える必要があると思っています。

成功法則を学んでも成功できない理由は様々ですが、書き手の問題と読み手の問題があります。どれだけ素晴らしい本やセミナーだとしても、その内容を理解する「読解力」が求められます。

最新の脳科学の研究では「人は見たいものしか見ない」ことが分かっています。

例えば10人が同じセミナーを受けても、その内容は10人それぞれが違う解釈をします。これは「人は見たいものしか見ない」という典型的な例でしょう。

カントの「純粋理性批判」のような抽象度の高い哲学書であれば、いかようにも解釈することが可能なので、本当に理解するのは世界でもトップレベルの知性が必要です。

私は『再現性』という言葉の真意を大切にしています。

今回のセミナーで一貫してお届けしたいテーマは『再現性』で、再現性があるかないか、が最も大切な視点として進めていきます。

## 【人は20歳以降に成長しないのか？】

スイスの心理学者ジャンピアジュは、人は5つの段階で発達するとまとめました。その発達段階とは、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期の5つ。人は20歳ごろまで成長し、そして完成する。

注目すべき部分は、**人は20歳以降には精神的発達はほとんどしない、**とされていること。

これは有名なエリクソンやフロイトなど名だたる研究者たちも同意見で、実際に彼らの文献には、成人以降の発達はほとんど記述されていません。

なかには30歳以降は死に向かうだけの人生で、消化試合とされたような論文もあり、発達心理学の世界では成人期までの教育が、その後の人生をほぼ決めるとする意見が定説でした。

人は20歳以降に成長しないのか？

この議論に対し、様々な議論が交わされてきました。

これは私たちの身近なところを見てもそうで例えば、高校を卒業して20年以上経過した同窓会に行くとお互い白髪が少し混じはじめたことを歳月の隔たりに驚きます。

しかし、そういう時でも古い友人たちの仕草や話しぶりは、ほとんど変わっていないことがわかります。

同窓会がスタートしてから少し時間が経ってふと周りを見てみると、小グループに分かれており、それは学生時代の昼休みとほとんど同じ構成になっています。つまり、見た目は変わっていても人としての内面にはあまり変化がないように見えます。

その逆で最近、頻繁に会っていた人が一週間後にまったく別人のようになっていることがないように、人が急激に変わることもほとんど経験することがないはずです。

**これは逆の意味の『再現性』なので、よく理解する必要があります。**

本当に人は変わらないのか？

従来の発達心理学によれば、その答えは  
残念ながら極めて「YES」に近い。

しかし、フロイトやエリクソンのような名だたる研究者を差し置き、唯一、人は変わると言ったのが、アブラハム・マズローです。マズローの研究で最も有名なものが『欲求5段階説』でしょう。

生理的欲求、安全欲求、社会的欲求、承認欲求、自己実現欲求と、人は5段階のピラミッドのように欲求が構成されていて低階層の欲求が満たされると、より高次の欲求を欲するというものです。

マズローの研究で特徴的なことが2つあります。1つ目は、発達心理学の世界で常識とされていた20歳以下の研究をほとんどしていないこと。

そして2つ目が自己実現を果たした人を徹底的に研究したという点です。

マズローの文献を調べてみると、人生後半の成熟した人間を研究の中心

に据え、平均的な大人がどのような段階を経て自己実現を果たすのか？  
という研究だったこと。

ごく普通の大人たちがクリティカルエイジ（学習限界年齢）を超えて自己実現のステージに立つ。マズローにとってこれが最も興味がある研究だったわけです。

つまり自分の持っている才能や潜在能力を十分に引き出し、成長させ、その結果、自分の本当の人生を歩んでいる人。これがマズローの研究対象であり、今回のセミナー内容につながります。

## 【自由に移動できる力】

私はコーチングを教育のスタンダードにする活動をしています。なぜなら、間違いなく今より豊かな世界を築くと確信しているからです。

フロイトやマズローのような偉大な研究者たちに共通しているのは、正しい教育こそが明るい世界を築くということ。私が知る限り、その正しい教育に最も近いものがコーチングです。だからこそ、今、私のゴールは学校を作ることです。

さて、コーチングの再現性ですが日本には約5万人のコーチがいるとされていますが、マズローが定義した『自己実現のステージ』に移行した人は残念ながらかなり少数です。コーチングを学んだだけの人では、もっと少人数になるでしょう。

ここで表現する『自己実現のステージへの移行』とは、自己実現を果たした人という意味ではなく、自己実現に向けて実際に行動を開始したという意味です。

そしてなぜ、コーチングを学んでも自己実現のステージに移行できないのか？ それは多くの人が情報空間から実際に現実空間に落とし込む方法を知らないからです。

そもそも抽象度の高い情報空間（cf.現状の外のゴール）は基本的に見ることができません。そして最も勘違いしてはいけないことは、抽象度を上げることより、下げる方がエネルギーがいるということです。

たとえば、「世の中からイジメをなくす」というゴールの場合、ゴールを設定した時点ですでに抽象度が高いことがわかります。しかし、ゴール

を実際に具現化させることは難しく、真の抽象度が必要になります。

つまり抽象度を上げることは比較的簡単（表面的なゴール）で、高い抽象度であればあるほど、現実空間に落とし込むのに膨大なエネルギーが必要になります。

コーチング業界を眺めていると、抽象度が高いことがよいことで、低いことは悪いことだという一部の風潮もありますが、本当に大切なことは

『抽象度の世界を自由に移動できる力』です。

ゴールは現実世界で起こること。それが「イジメがない世界の創造」でもそれは必ず現実世界で実際に起こることです。つまり、情報空間から現実空間に落とすことが必要になります。

高い抽象度の世界から、現実空間へ移動させる。これがゴールを掲げた時にかかる法則です。

世の中には願えば叶う、というバカげた成功法則もありますが、そんなことは小学生にも分かる原理原則から外れたこと。こんなことが真の成功法則であれば、世の中はすでに成功者だらけになるはずです。誰も苦労する必要がありません。



つまり、引き寄せの法則は、今回のセミナーテーマである『再現性』がないと断ずるに一片の迷いもありません。

コーチングを学ぶということは、実際に現実世界を変えるということ。もっと言うてしまうと、人生を楽しむということです。情報空間上にゴールを設定し、それを現実世界に落とし込む。これがゴールを達成した瞬間。そして、その瞬間を増やしていくことが再現性を高めるというテーマにつながります。

このプロセスに楽しみを覚えるのが、コーチングを学ぶ醍醐味の1つなので、ぜひ楽しみにしててください。

## 【パラレルワールドと選択肢】

最近、将棋の世界で若干14歳の藤井四段が前人未到の29連勝をしたということが話題になりました。

一流の棋士と素人棋士との違いは何かといえば、それは、選択肢の幅で

す。仮に藤井四段と素人が対戦したとすると、素人は30の選択肢の中から1手を選んでいるのに対し、藤井四段は1万の選択肢の中から1手を選びます。

数字はイメージの問題ですが、対局中はこれが毎ターン続いていくわけですから、確率論から考えても素人が藤井四段に勝つことはまず不可能でしょう。

ここからテーマを『選択肢』に絞ると、本来、人の選択肢は無限に近いほどあります。

例えば、住む場所だけで考えてみても世界各国どこの都市に住んでもいいし、3日に一度、住む場所を変えてもいいわけです。もしかしたらそんなの無理だよ、と思われる方もいるかもしれませんが、これは実際に私の友人が当たり前のよう実践しています。

選択肢を狭める要因は様々ですが、多くの場合、仕事や人間関係に原因があります。私がテレビディレクターをやっている時は、月に28日、1日20時間は拘束されていたので、世界各国を回るどころか、家にさえ帰ることができず職場のソファで寝ていました。

その環境でコーチングと出会い、半年で独立、2年後には出版社を立ち上げ、さらに2年後にコーチング会社を立ち上げ、翌年にはヨーロッパで寿司店も開業。自由な時間も圧倒的に増え、選択肢も大幅に広がりました。

私たちが目指すべきことは、選択肢を指数関数的に増加させ、その中で自由に行き来するようになることです。

## 【満足した豚になるな】

人それぞれ価値観が違うことを前提にしますが、私はコーチングを学ぶ理由に「人生の幸福度を高めること」ことだと考えています。

なぜなら、コーチングを学んでも人生が変わらない、辛い状態が続くのであれば何のために学んだのか？ と感じるからです。

もちろん、学ぶこと自体が楽しいということもありますが、その楽しさをさらに倍増させ、現実を変え、人生を変え、楽しさの領域を増やせる人になってほしい。

コーチングを学びました。だけど人生が楽しくなりません、というのは私自身も悲しいし、学んだ人自身も心から納得できないでしょう。さらに助けられる人も助けられないわけですから、3方悪しになります。

そして、バカの1つ覚えみたいに、ゴールは現状の外、とにかくゴールが大切と言いながら、自身は情報空間をこねくりまわすだけで現状に満足している豚のようなコーチがいかに多いことか。

そもそも、ゴールは常に現状の外なのであれば、何年もコーチだけをやっていること自体が自己矛盾になっていることに気がつかなければいけません。

このような状態を変えるためにも、私は『再現性』を高めていく必要があると考えています。

コーチとは未来を作る人であり、他人の可能性を広げていく人です。その結果として世の中をよくし、社会貢献をし、その結果としてお金を稼げるようになるループにたどり着くまでを今回のセミナーですべて提示します。

## 【クリティカルエイジを超えて】

最初にお伝えした通りフロイトやエリクソンなど名だたる研究者たちは「人はほぼ変わらない」という結論に達しました。特に20歳以降はほとんど変わることがないそうです。ここには自我同一性の原理原則も働くからだそうですが、私が注目すべきポイントは「人は**ほぼ**変わらない」という「**ほぼ**」の部分です。

確かに100人いれば多くの方は、現状の延長線上を歩んでいることでしょう。しかしマズローが提唱するように、ごく普通の方が、いきなり自己実現のステージに入り、自己実現を果たす方が確かに出てきます。この再現性は確かに高くはないかもしれませんが。

しかし、確実にパラダイムシフトを起こす人がいて、その人達にはある共通点があるのです。

クリティカルエイジとは学習限界年齢のことで、人としての能力値を決めるクリティカルエイジは大枠で7歳まで。言語のクリティカルエイジは13歳までとされています。私たちが20歳を超えて他言語を習得す

るのが難しく感じるのはクリティカルエイジがあるからで、特にネイティブと言われるくらいその国特有の発音をよくしようとするとかかなり難易度が上がります。

私たちの成長にはクリティカルエイジが関係しているのは、ほぼ間違いない事実で、いかにしてクリティカルエイジを超えていくのかが今回のセミナーのポイントであり、具体的に解説する内容です。

## 【広大で果てしない可能性】

人の精神活動は150億にも及ぶ脳の神経細胞とそのネットワークが基盤になっています。この解析をすべてするのは現代科学をもってしてもほぼ不可能とされています。

たとえば、あなたがある時、急にリンゴが食べたくなるとします。そして実際にリンゴを買うためにスーパーに行きリンゴを買って食べたとします。

この一連の流れ、特に急にリンゴが食べたくなったという発想ですら、現代科学を持ってしても解明することはできません。

もちろん、推測自体はできますが、なぜ、その瞬間にリンゴが食べたくなったのか？ということまでは分からないのです。

と、いうことは・・・

コーチングで最も大切とされている『ゴール』もなぜ、そのゴールを設定したのか？ ということを科学的に解明することは不可能です。実はゴールを設定できるということは、人ならではの素晴らしい能力です。

そもそも、『なぜ？』というのは、他のあらゆる可能性ではなく、その特定の出来事を生じさせた因果関係を見つけることになります。

デカルトが「私とは何か？」と問うた時、「考えるものである」とし、考えるものとは、疑い、理解し、肯定し、否定し、意識し、意識しない、想像し、感覚するものである、と論じたように、これらは普通に人が行っていることで、まだまだ人の領域は広大で果てしないと言うことができるでしょう。

## 【今回のセミナー概要】

今回のセミナーのポイントは、『情報空間を自由に移動する力を身につけ、クリティカルエイジを確実に乗り越えていく方法』をお伝えします。

今回のセミナーテーマである『再現性』をもう1つの角度から説明すると抽象度の世界を自由に行き来できるようになるということ。

情報空間をより広く移動できる人が、抽象度の高いゴールを達成できるということです。そして、最も大切なことは、小難しい理論だけではなくそこに再現性がなければ意味がないということです。

## 【コース概要】

再現性セミナーのコースは通常コースと上位コースの2つあります。

スタンダードコースは、セミナー内容をビデオで受講するコースです。

ベースはコーチングで、そこに発達心理学の知見を融合しました。最も



大切なテーマは、あなたのゴールを見つけること、そしてゴールの達成する再現性を高めることです。

それ以外には、クリティカルエイジの破り方、真の人生を楽しむ方法を再現性を柱にしてお伝えします。

こちらのコースの受講費は3万（税込）です。

続いて、プレミアムコースです。こちらはスタンダードコースに加え、内山の個人セッションを3回受けることができます。

セッションは、基本的に zoom で行う予定ですが、対面を希望させる場合、対面でのセッションを行うことも可能です。

こちらのコースの受講費は35万円（税込）になります。

とにかく目的は『ゴールの再現性を高めること』です。

あなたの持っている潜在能力を開花させ、充実した楽しい人生を送っていきましょう。

## ➤ 申し込みはこちら

それでは、ありがとうございました。